

今年の成人式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。本来であれば、この晴れの日旧友と昔を懐かしみ、恩師や保護者に立派に成長したことを披露し、感謝し、これから大人として、社会の一員としての活躍を約束する、そんな日になっていたでしょう。しかし、その機会はなくなってしまいました。

式典が中止になっても、私たちは社会に出て立派に活躍していきます。今までと形は違っても、私たちは成人として認められ、同時に大人としての責任も持つこととなります。

私は、“順番”という言葉がいつも心に置いています。良いことも悪いことも、楽なことも面倒なことも、楽しいことも嫌なことも、すべて“順番”に回ってくるものだと思っています。受験期の忙しい中、毎日駅や学校に送迎してくれた両親。これからは、そんな両親の役を私が担う“順番”だと思います。思い返すと両親には数えきれない迷惑をかけ、支えてもらいました。本当に感謝しています。これからは私たちが親孝行して返していく“順番”だと思います。少しでも返していけるように日々精進していきたいと思っています。

また、このような考えを持つようになったのは、根形という地域で育つことができたからだと思います。生徒数が決して多いとは言えませんが、そのおかげで多くの生徒が何らかの役割を持ち、協力できる環境だったからだと思います。個人個人に目を配り、時に優しく、時に厳しく指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。先生方に教えていただいたことは勉強面だけではなく、人として私たちが成長させてくださいました。今度は私たちがそのことを誰かに教えていけるような大人に成長したいと思っています。

私たちは大学や専門学校など、自分の夢の実現に向けて歩いている者、すでに社会の一員として働いている者など立場は様々ですが、どんな状況であってもそれぞれが自身のやるべきことを全うしている最中です。

世界的に混乱しているこの状況に適応し、社会を支え、解決に向かわせるのは私たちです。現に私たちは成人式のみならず、楽しみにしていたイベントや友人との集まり、外出したり旅行したりといったことも制限される中で、できることや新しいことを探し、この状況に適応してきています。これからは私たちが社会を支えるため、それぞれが自分の道で日々やるべきことを行うことで、この状況を解決に向かわせることにつながると思います。

私たちは、まだまだ経験も力も足りず、今後も多くの人に迷惑をかけてしまうと思います。未熟な私たちに対し、今後もより一層のご指導をよろしくお願いいたします。そして今まで支えてくださった多くの方々への感謝を忘れず、各々の役割を全うし、生きていくことを誓い、新成人代表の言葉とさせていただきます。

令和3年1月10日

根形地区新成人代表 石井 健大